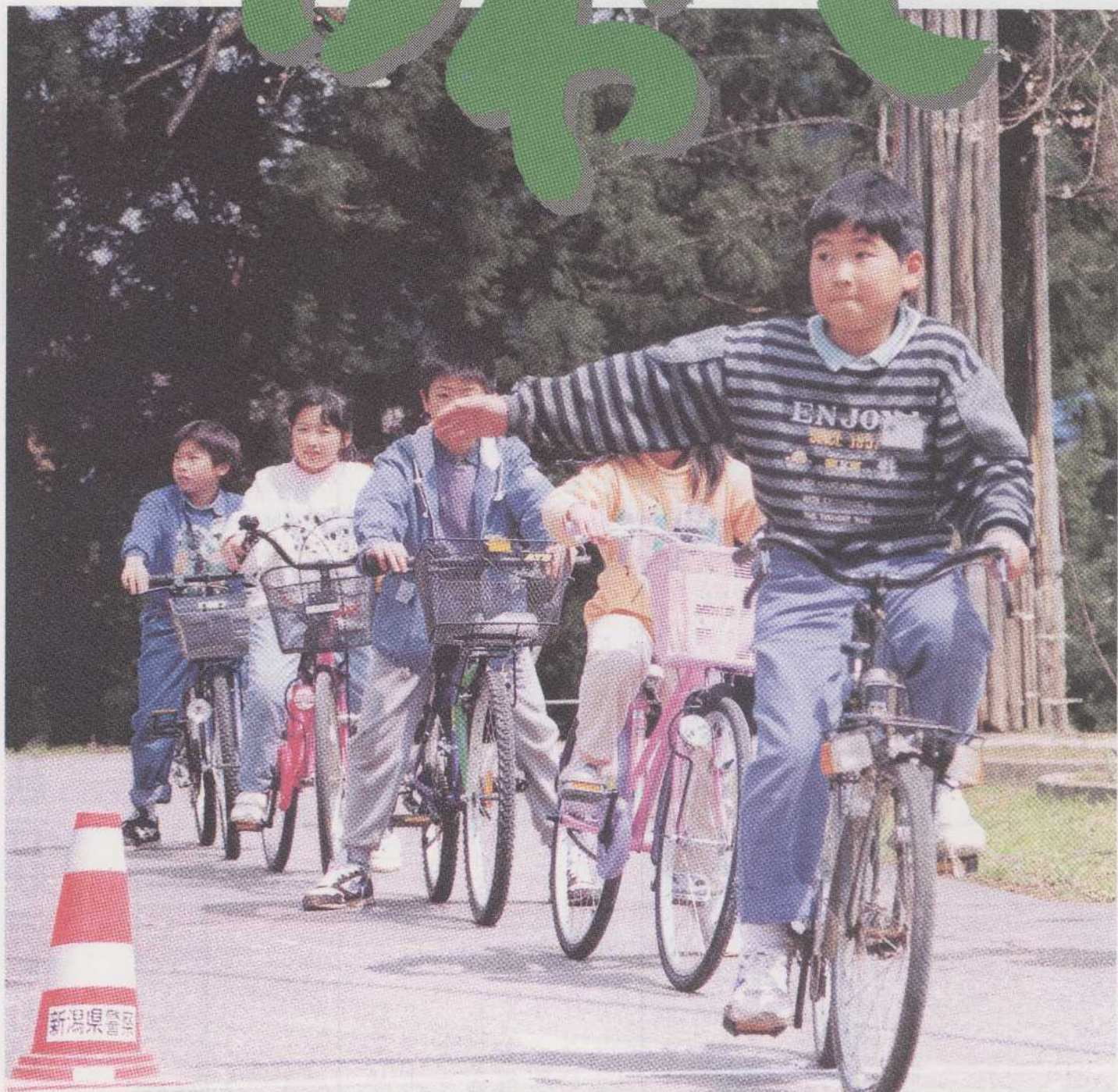


広報

おたけ

NO. 465

平成9年5月10日



正しい乗り方・
ルールを守ります



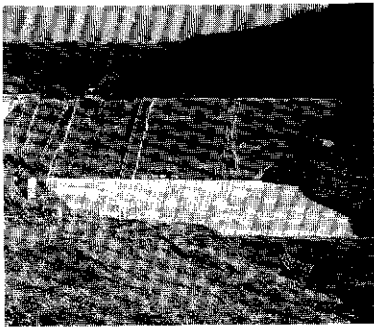
〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 TEL 0257-68-3111 FAX 0257-68-3828
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社 (毎月10日発行)

人口の動き	
— 5月1日現在 —	
男	4,244 (−1)
女	4,328 (+1)
計	8,572 (±0)
世帯数	2,260 (+3)
() は前月比較	

議会報告

四月二十五日、第二回川西町議会臨時会が開かれました。会期は一日間です。まず、専決処分した事件（税条例へ平成九年度税制改正に伴うもの）、国民健康保険税条例へ課税額の限度額の引き上げ（五十二・五十三万円に改正）の一部改正、平成八年度一般会計補正予算（県営防災ダムなどの事業負担金に伴う地方債限度額の変更など）が承認され、次いで、平成九年度川西町一般会計補正予算（スクールバス購入費など二百二十五万円を増額）が原案どおり可決されました。

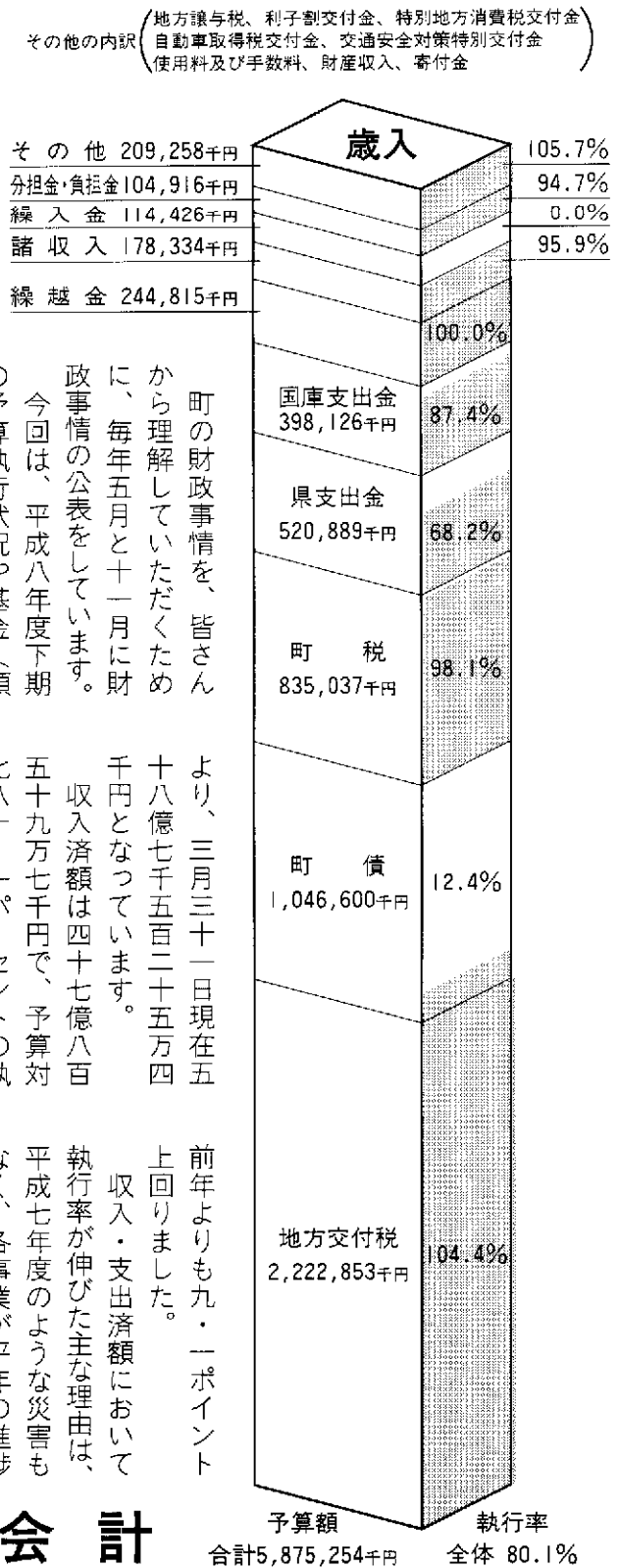
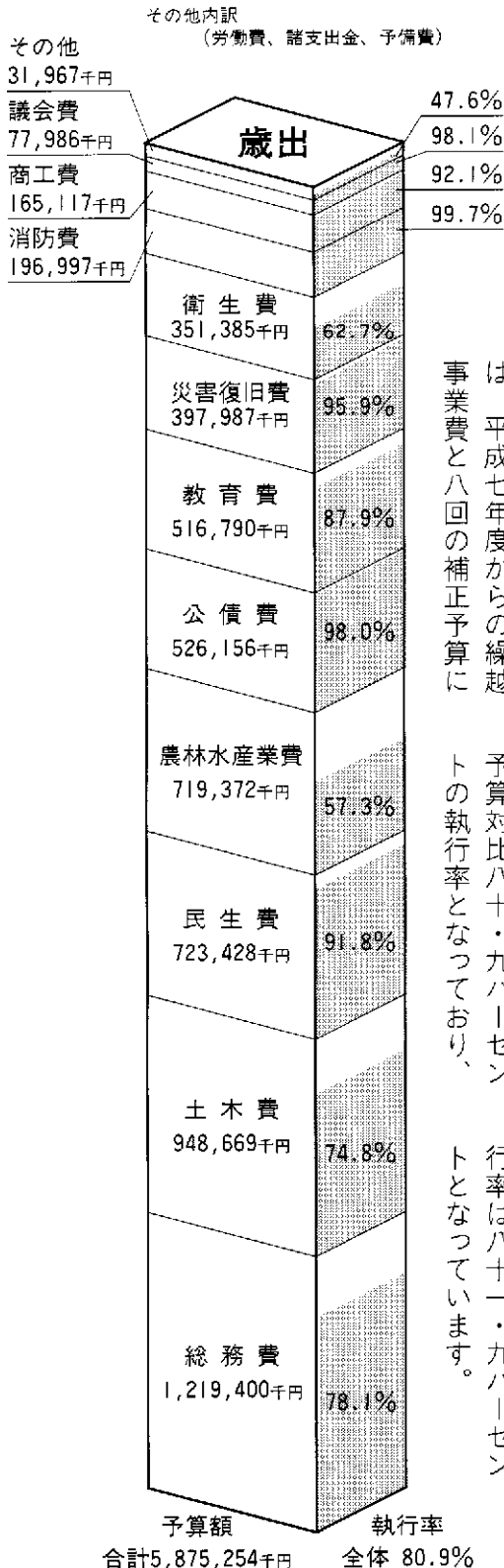
また、五月十九日で任期満了となる教育委員に、現職の金子幸作さん（岩瀬・七十二歳）を任命することに同意しました。



平成10年度の完成をめざし
工事が進む長福寺ダム

財政事情の公表

平成8年度の予算執行状況をお知らせします



予算の執行状況

平成八年度一般会計予算は、平成七年度からの繰越事業費と八回の補正予算に

町の財政事情を、皆さんから理解していただくために、毎年五月と十一月に財政事情の公表をしています。今回は、平成八年度下期の予算執行状況や基金（預金）、町債（借金）の状況について紹介します。

支出済額については、四十七億五千四百三十三円で、予算対比八十一・九パーセントの執行率となっております。

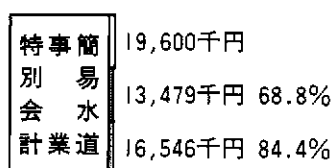
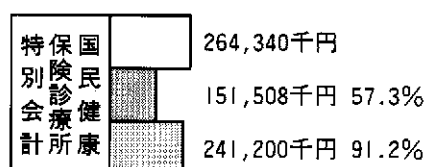
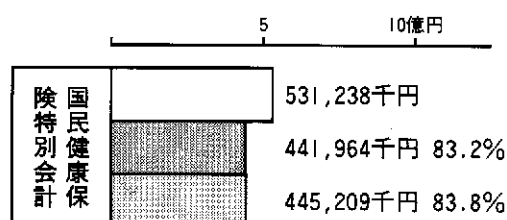
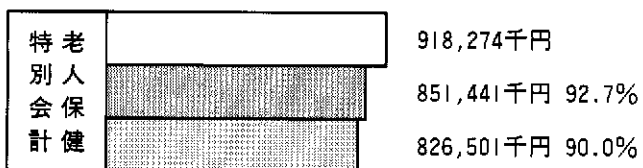
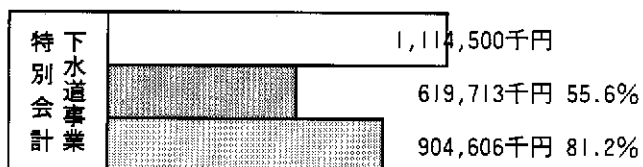
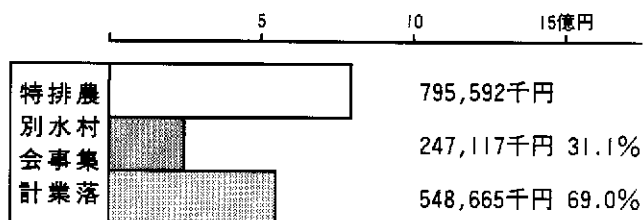
より、三月三十一日現在五十八億七千五百二十五万四千円となっております。収入・支出済額において、執行率が伸びた主な理由は、平成七年度のような災害もなく、各事業が平年の進捗にもどったことによるものです。

六つの特別会計は、合わせて三十六億四千三百五十四万四千円の予算額で、執行率は八十一・九パーセントとなっております。

前年よりも九・一ポイント上回りました。

一般会計

特 別 会 計



凡 例	予 算 額
	収入済額 執行割合
	支出済額 執行割合

町 債 (借 金)

区 分	7年度末残高 千円	8年度末残高見込 千円
一 般 会 計	4,445,132	5,146,246
国民健康保険診療所特別会計	450,386	407,739
簡易水道事業特別会計	71,741	67,302
農村集落排水事業特別会計	1,133,309	1,298,137
下水道事業特別会計	1,350,200	1,884,590
合 計	7,450,768	8,804,014

中子ショートゴルフ場オープン
でコースを楽しむ参加者(8・9・)



基金(預金)

区 分	7年度末残高 千円	8年度末残高見込 千円
一 般 会 計		
土地開発基金(現金分)	129,711	147,545
財 政 調 整 基 金	778,030	965,195
減 債 基 金	154,704	148,599
藤 巻 褒 賞 基 金	2,445	2,392
豪 雪 対 策 基 金	124,000	97,313
克雪住宅資金貸付基金	235,000	250,000
文化会館建設基金	443,031	476,570
ま ち お こ し 基 金	382,228	408,330
地 域 福 祉 基 金	173,889	173,889
ふるさと・水と土保全基金	23,000	39,000
ス キ ー 場 建 設 基 金	10,000	10,162
国民年金印紙購買基金	12,219	12,199
国 民 健 康 保 険 給 付 準 備 基 金	187,249	188,054
ま ち お こ し 基 金 (居住環境整備資金)	23,000	23,000
合 計	2,678,506	2,942,248

基金の状況

町には、現在十四の基金があり、その総額は二十九億四千二百二十四万八千円となっています。

基金は、特定目的のため積み増しをしているもの、反対に取り崩しをして事業の財源としているもの、また、定額運用して利子だけを事業の財源としているものなど、様々な管理の形態があります。

前年度対比で増えた主な要因は、財政調整基金におよそ一億八千七百円、文化会館建設基金におよそ三千三百万円の積み増しがされたことによります。

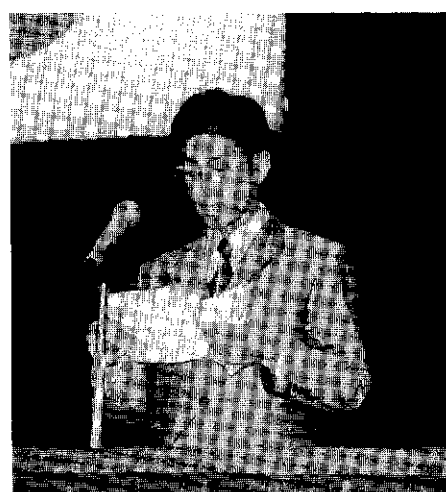
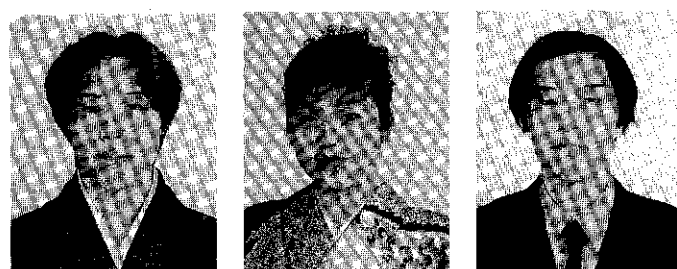
町債の状況

町がいろいろな建設事業をする場合、その財源の多くは町債(借金)によってまかなわれています。一般会計においては、中子ショートゴルフ場整備(四億三千六百二十万)、道路整備(一億五千二百二十万)、公営住宅建設(七千六百十万)など、総額十億一千八百九十万円の町債が充てられています。また、特別会計においては、下水道整備として七億一千二百九十万が充てられています。

平成八年度末の町債残高は、十八億円を超え大変巨額になっています。しかし、計画的でバランスのよい財政運営に心掛け、豊かで暮らしやすいまちづくりを進めています。

祝 成人

5月3日



成人を代表して「誓いの言葉」を述べる 田畑裕之さん



記念講演

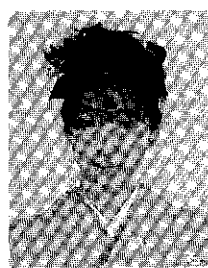
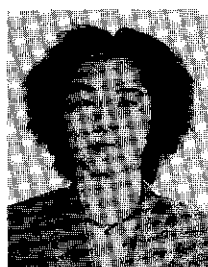
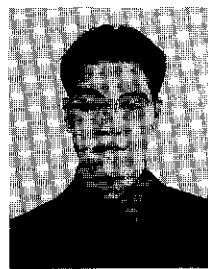
『未来のあなたは
あなた自身がつくる』

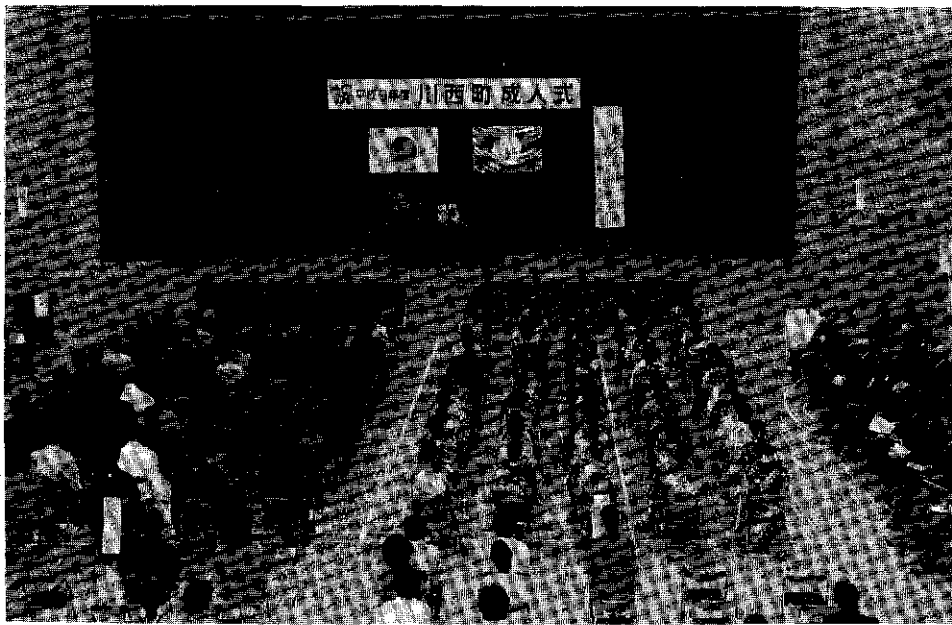
(株)E・M・I代表取締役社長

堤 江実さん

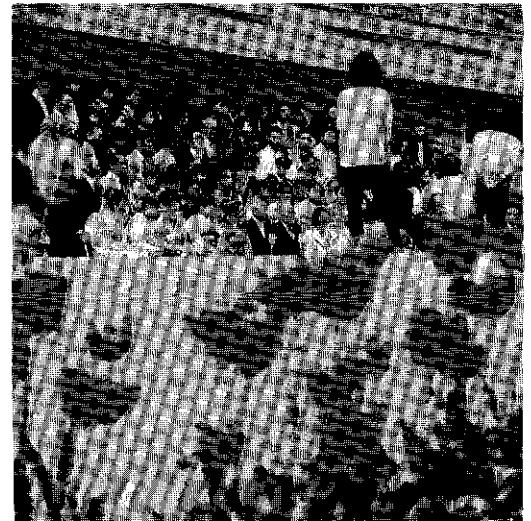
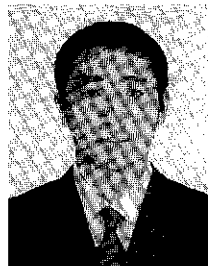
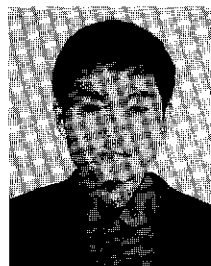
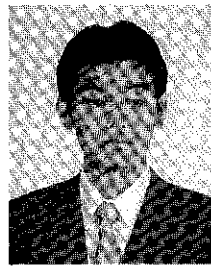
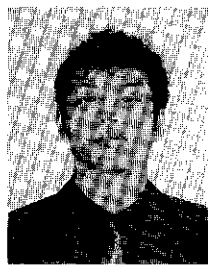
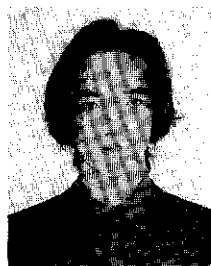
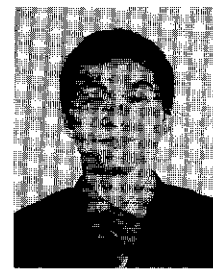
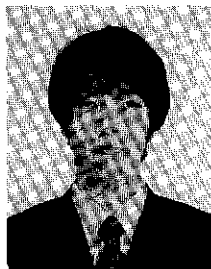
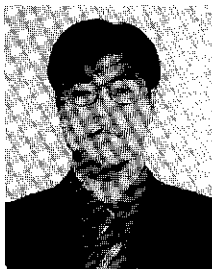
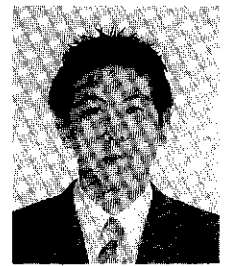
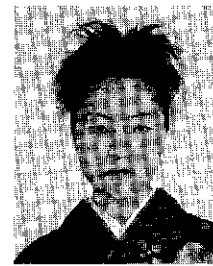
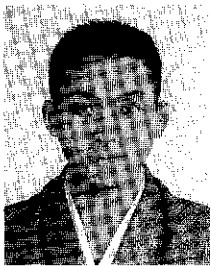
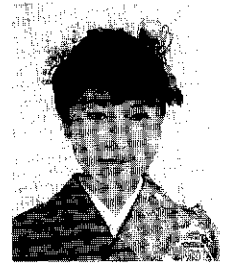
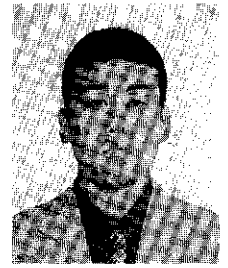
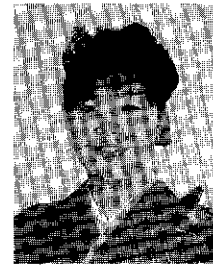
今年、成人を迎えられた方は百五十五人。昭和五十一年四月二日から昭和五十二年四月一日までに生まれた男子八十四人、女子七十一人です。このうち百二十七人が出席しました。

昭和五十一年といえば、町もちょうど「はたち」を迎えるという節目の年、そんな中で誕生された皆さん方です。当日、式に出席され、撮影にご協力いただいた方を紹介します。



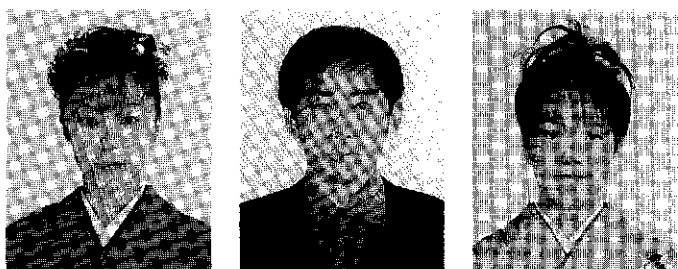
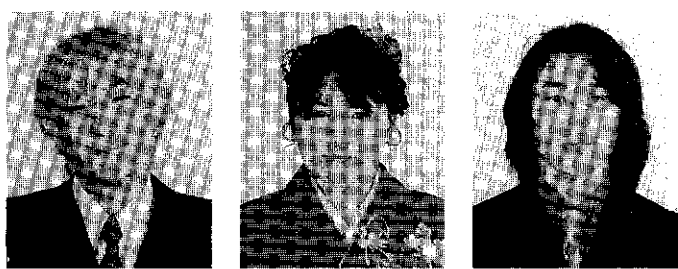


記念講演では、熱心に講師の話に耳を傾けていました



各地区ごとに記念写真を撮りました

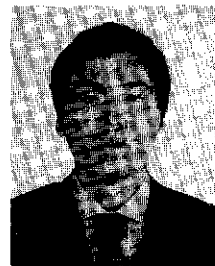
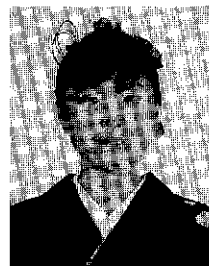
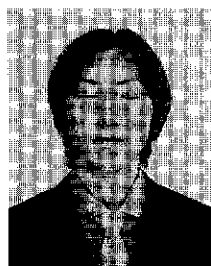
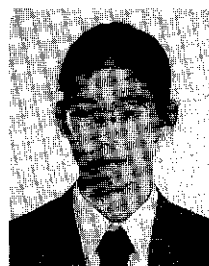
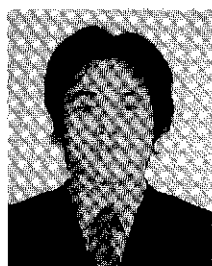
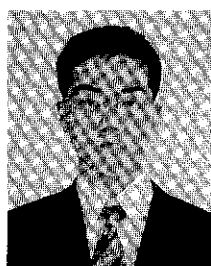
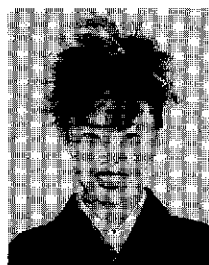
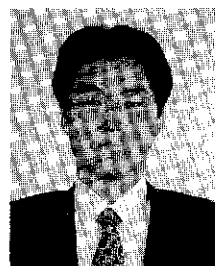
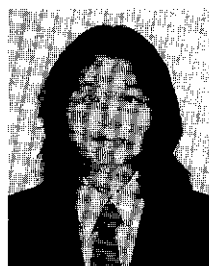
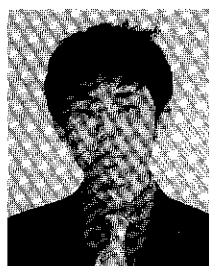
久しぶりに会った友達と昔話に花を咲かせていました。



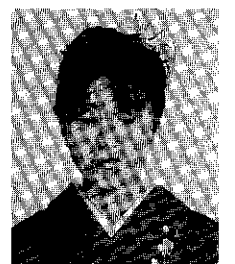
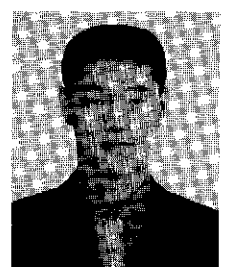
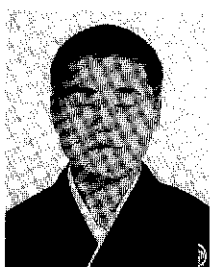
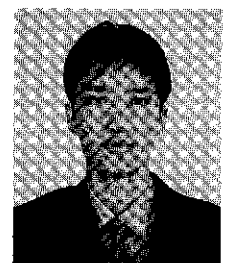
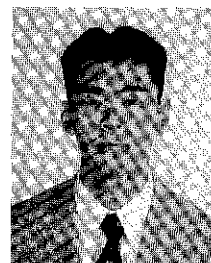
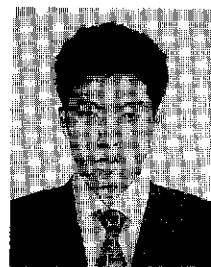
■千手地区																				（順不同・敬称略）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
中島町		中島雅文		田中町		野上朋美																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
清水奈保子	平野清恵	松本恵里子	松本麻里子	清水孝	畠山正志	小林一成	中村将和	西野一巳	高橋和美	田中亜希子	樋口朗子	丸山歩	田中稔	関文恵	宮本奈奈	富永浩一	大久保忠輔	蔵品芳一	春日裕美	柄澤京子	丹波優子	高橋麻美	南雲和美	羽鳥節子	星名愛	坂上咲子	平野綾子	平野由布子	丸山妙美子	大溪文祥	平野幹夫	田中麻里	清水晃	小野塚俊介	保坂明生	太田綾																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
学		校		坪		高		伊		沖		木		中		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上		上	



式も終わってホッとひと息。いくつもの話の輪が見られました。



上野										元町										新町新田										三領										小根岸										木橋地区										塩田										仁田																																																																																																																																																																																																																											
角谷真										押木大輔										内山竜哉										小嶋健二										若山勝美										若山真也										渡邊克典										丸山みゆき										水品貴子										渡貫恵子										高橋和巳										高橋正樹										小海春美										田口孝司										山家拓朗										関口亜希子										田口千由紀										田口奈津美										田口雅子										高津まなみ										曾田誠										山田建吾										佐藤宏美										戸田香奈子										山口直美										山口深雪																																							
野口										原田										根深										下原										中仙田										仙田地区										室島										小脇										赤谷										岩瀬										大白倉										小白倉																																																																																																																																																																																			
五十嵐淳一										根津誠										丸山崇										田中良洋										小林一樹										小林裕道										小林大和										小林義和										高橋 覚										久世寛子										黒金智美										高野真由美										高橋博美										南雲美香										高橋完亨										米山和美										齊木悠輔										小笠原奈緒美										小川智和										登坂優治										登坂 豊										小川久美子										行田ゆかり										小川恒範										金子多臣一										金子寛子										長谷川由和										片桐英恭										田中直哉									



ご家族の方も真剣なまなざしで見つめます

カメラさんぽ



4月29日行われた第10回信濃川河岸段丘ウォーク。総合体育館前からは25Kコースがスタートしていきました。

こつこつと地道な努力を重ね、社会の発展に貢献してきた人たちに贈られる春の褒章受章者が、四月二十七日発表されました。町では、南雲良さん(73歳)が藍綬褒章の栄誉を受けました。南雲さんは、昭和四十三年から平成七年までの二十七年間民生・児童委員を務め、昭和五十八年から平成元年ま



民生・児童など福祉に貢献 南雲さん(寺尾)に藍綬褒章

で同委員の副総務の任に当たってきました。

また、昭和四十三年十二月から五十四年六月までの十年七か月間は、社会福祉協議会評議員を在職。昭和五十四年七月から平成五年十二月までの十四年五か月間は、同会の副会長を務められました。

さらに、昭和五十三年五月から現在まで保護司として在職中であり、平成五年十二月から現在まで社会福祉協議会理事を在職されており、地域住民の様々な相談に応じ、問題解決に向け力を注いでいます。

川西町への歩み^⑮

岩瀬金子幸作

郡役所と小村の連合

明治十一年（一八七八）七月に三新法（郡区町村編成法・府県会規則・地方税規則）が公布されると、旧来は地域の名称にすぎなかつた「郡」が県と町村の中間行政を執行する機関となる。魚沼郡は南・北・中の三郡に分けられ、翌

い村が財政問題を共同で解決するようになる。当時、川西の村々は二七カ村であつたが、次のように数カ村をひとつの単位に戸長を置いて対応している。

明治十一年（一八七八）七月に三新法（郡区町村編成法・府県会規則・地方税規則）が公布されると、旧来は地域の名称にすぎなかつた「郡」が県と町村の中間行政を執行する機関となる。魚沼郡は南・北・中の三郡に分けられ、翌十二年九月、十日町村に中魚沼郡役所が置かれて初代郡長に岡田龍松が就任する。

明治前期は小規模の村が多く、教育令が公布されたことにより、学校設置費等の負担に耐えきれな

野口村と上村新田に一人

星名新田 祖師村 新町新田

上野村 下平新田 宗正村に一人

三領村 小根岸村 伊勢平治村

友重村 弘道新田に一人

鶴吉村 霜條村 坪山村 高原

田村に一人

山野田村 東善寺村 中屋敷村

水口沢村 沖立村に一人

上新井村（樽沢分 名ヶ山分

中平分 鉢分を含む）に一人

仙田村（一五集落）に一人

戸長と戸長役場

戸長の職務は布達の徹底、戸籍整備、租税徴収、小學校の設置、就学勸奨、徴兵調査など国家行政の事務が主で、要は中央政府の法令の徹底と政策の浸透をはかることにあつた。このため、戸長時代の村は内務大臣や県知事、郡長がすべての業務について監督している。村は、条例の制定や役場吏員

の選任をはじめ、議会の解散などに多くの制約をうけ、何をするにも国・県の顔色を伺わなければならなかつた。

明治十七年には、戸長が国家機関としての機能を維持していくことを目的に官選制度となり、数村を連合して統治する戸長役場が置かれる。このときの、戸長役場管轄区域の拡大はおおむね五町村、戸数にして平均五〇〇戸を標準に行われ、川西には四つの戸長役場が置かれて次の村々を管轄した。

仁田戸長役場

野口村 仁田村 寺ヶ崎村 木

落村 上村新田 長井新田

伊勢平治戸長役場

上野村 下平新田 新町新田

星名新田 宗正村 伊勢平治村

友重村 小根岸村 三領村 弘道

新田 沖立村

水口沢戸長役場

鶴吉村 霜條村 坪山村 高原

田村 中屋敷村 水口沢村 山野

田村 東善寺村 上新井村

仙田村戸長役場

中仙田 室島 桐山 小脇 高

倉 霧谷 藤沢 田戸 越ヶ沢

赤谷 岩瀬 大倉 大白倉 小白

倉 大貝

市町村制の公布

明治二十一年四月に市町村制が公布されると、市町村は市町村会をもって議決機関とし、議員の選

出は一戸を構えて生計を営む満二十五才以上の男子で、地租もしくは直接国税二円以上を納める者によって公選されることになる。とはいっても、税額の多少によって有権者を差別する一級、二級の等級選挙であつたから、少数の多額納税者が多くの議員を選ぶ結果になつた。そのうえ、二級選挙の執行された後で多額納税者の意になつた人を選ぶ一級選挙が執行されたため、村政に及ぼす上層階級の影響が大きかつた。村長は村会議員の互選で選ばれ、選ばれた村長は議会の議長も務めた。

郡長が合併を勧告

内務省の統計報告によると、明治二十一年（一八八八）十二月末の町村数は新潟県が全国一位で、町が五〇四、村が四〇八九、合わせると四五九三町村であつた。このうち、町または村と称するにはあまりにも規模の小さいものや、住みつく人もいない無民戸の町村が少なくなかつた。このため、県では翌二十二年四月の市町村制施行にともない、県独自の「市町村制実施要綱」と「町村合併標準」を策定して各郡長に合併を指導、奨励する。中魚沼郡役所は、県の意向に沿つておおよそ二〇〇〇戸（五〇〇戸を以て一村を構成することを標準とし、管内の八二カ村を二四カ村にする勧告案を示して

合併を勧奨した。

中魚沼郡長小林巻蔵が川西地方に示した合併勧告案（町村区域の改正）は次のとおりであつた。

①水口沢村七四戸 中屋敷村一

二三戸 山野田村一二戸 上新井

村三一戸 東善寺村四七戸 坪山

村五六戸 霜條村四七戸 鶴吉村

一六戸 宗正村三戸 高原田村一

五戸 沖立村八六戸 弘道新田

（無民戸）を合併して「千手村

（五一四戸）」とする。

②新町新田七四戸 下平新田三

九戸 上野村一九二戸 星名新田

二戸 三領村二九戸 小根岸村一

四戸 伊勢平治村五〇戸 友重村

二三戸を合併して「上野村（四二

三戸）」とする。

③仁田村一三九戸 野口村一五

四戸 上村新田（無民戸） 寺ヶ

崎村三〇戸 木落村九〇戸 長井

新田（無民戸）を合併して「野田

村（四一三戸）」とする。

④仙田村（九〇五戸）は現行の一五集落を以て一村とする。

市町村制は二十二年四月から施行されるが、これに先立つて行われた合併は地区ごとに難航する。

川西では仙田村が勧告どおり一村となり、千手町村、上野村のほか野田村（案）が橘と名を変え、また、だれもが予想していなかつた中野村の誕生をみることになる。

引用文献

「新潟県市町村合併誌」他



明治20年代の中魚沼郡役所
（ふるさとの100年、新潟日報事業社刊・転載）

夢雪隊に小さな親切実行章

困っているときに、思いがけなく親切を受けたことはありませんか？ 小さな親切運動本部では、そんな心温まる親切を実行してくれた方に、小さな親切実行章を贈呈しています。これは、日常の中で、ともしれば埋もれがちな心温かな人々の存在を社会に知らせると同時に、「ちいさな親切」運動の輪を広げるきっかけともなっています。

平成八年一月に、町内の高齢者世帯などの雪下ろし作業をボランティアで実施しようと発足された、雪下ろしボランティア「夢雪隊（上村保弘代表・隊員五十三人）」に、この度、小さな親切運動本部から小さな親切実行章が贈呈されました。

「夢雪隊」は、平日出動隊一組、休日出動隊二組の三組により構成されており、平成八年度には出動回数七回、延べ十四世帯、延べ四十八人がボランティアとして活動しています。



受賞を喜ぶメンバーの皆さん

北村さんにお上寿の祝い品を贈る

四月十五日、北村クメさん（山野田）に、上寿（百歳）のお祝い品が贈られました。

これは、町が平成八年度から高齢者敬祝事業の一環として実施しているもので、北村さんは、明治三十年四月十日のお生まれ。

クメさんの亡夫辰三さんは、繰物師でありました。しかし、千手発電所工事の始まったころ（昭和六年）に、今のどら焼きのようなものを置いて売り始めたことをきっかけに、クリまんじゅう売りをし、徐々に食料品へと移行。現在の店の前身を築いていきました。

「ボケないでいられるのが最高です。時間があると、店の人たちとお茶を一緒に飲んで世間話なんかをしています。」と、ご家族の方が話してくれました。



南雲町長(右)からお祝い品を受ける北村さん

まちのあっちからこっちから

YAROUKAI が 奨励賞を受賞

四月二十日、「第六回地域活性化大賞（協同組合県異業種交流センター主催）」が決まり、当町のYAROUKAI（やろうかい・上村保弘会長・会員二十七人）に奨励賞が贈られました。

「地域活性化大賞」は、地域の活性化事業やまちおこし運動など、地域づくりに貢献した団体に贈られるもので、今回は、県内二十一団体から応募がありました。

YAROUKAIは、平成三年九月に結成。親睦団体的活動から、地域内外との交流や、文化活動やボランティア活動を次々と展開。平成七年の「阪神大震災にあつたかいご飯を贈る運動」や、八年の除雪ボランティア「夢雪隊」の主力メンバーとなつて屋根除雪のボランティア活動を展開していることは、記憶に新しいところです。



会を代表して賞を受けた上村会長

「育て森よ」を願い 上野緑の少年団入団式

四月十五日、上野小学校体育館で、上野緑の少年団（渡貫紀子団長・団員五・六年生で構成三十人）入団式が実施されました。この入団式は、今回で十四回目を迎えることになりました。

緑の少年団では、毎年四月五月の「緑の募金」運動街頭募金活動をはじめ、学校林の保育、他緑少団との交流、魚沼林業振興祭などに参加。去年実施された町制施行四十周年記念事業では、ヤマユリ植栽事業に参加しています。

入団式では、南雲春雄育成会会長から渡貫新団長に団旗が手渡され、団旗に対する誓いの言葉や歓迎のあいさつ、入団の決意、入団

のお祝い贈呈などがあり、団員が誓いの言葉を述べて決意を新たにしていました。



団旗に対する誓いの言葉を述べる団員の代表

ミズバシヨウを楽しむ

四月二十日、野口ミズバシヨウ群生地で、ミズバシヨウ祭りが開かれました。

少雪のためか、例年より雪消えが十日でいとも早く、祭り当日は、見ごろの時期には少し遅れてしまったようです。しかし、好天候に恵まれ、家族連れ、友達同志で、会社の仲間や近所同志でと、三百人ほどが訪れ、ミズバシヨウに見入っていました。



ミズバシヨウで一日を楽しむ参加者

ナカゴグリーンパーク

オープン

四月十五日、中子台地にあるナカゴグリーンパーク（代表施設）



関係者の見守るなか、試打式のセレモニーが行われました

ショートゴルフ場（六ホール）、パターゴルフ場（十八ホール）がオープンし、今年一年間の無事故を祈りました。
南雲守組合長は、「近隣には、太刀打ちできないりっぱな施設を持った所もある。しかし、ファミリーから利用してもらおう施設として、組合職員一同心掛けていきたい。ゴルフ教室も開催する予定である。心からのもてなしをモットーに、安全に営業していきたい。」とあいさつしました。

五つのダムの

水管理を一元化

町では、昭和四十六年より県営園場整備事業や県営かんがい排水事業に取り組み、さらに、第二次農業構造改善事業を導入、その受益面積は六二三ヘクタールに及んでいます。

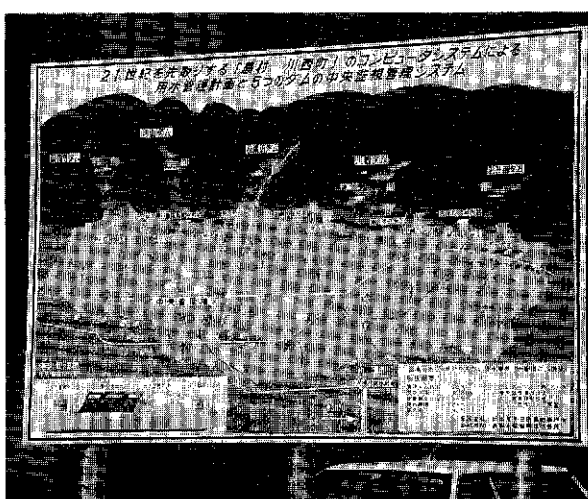
しかし、近年の農業・農村をめぐる社会情勢の変化、高齢化、兼業化、混住化などにより、中核となるオペレーターや後継者不足などの問題が生じ、その中できめ細かい水の有効利用が叫ばれてきました。

事業は、平成六年度に着手されたもので、平成十年度完成に向け整備されているものです。
この度、この事業のシステム管理パネルが完成し、中央管理棟駐車場脇に設置されました。施設の概要などについて説明します。

圃場は、五つの水系（木島川、曾根川、小海川、南沢川、北沢川）を利用した長福寺ダム、坪山ダム、松葉沢ダム、川西ダム、五升苗ダムを中心として用水がなされ、十一の水管理組合によって水管理がされています。

そして、用水需要量や需要形態など、種々の変化に対応するためには、この五水系の各ダムの気象計測をはじめ、貯水位、流量監視、監視による取水量制御を実施し、用水系統全体の水管理の合理化、維持管理の節減を図る

操作システム、管理システムの構築が望まれてきたところです。
平成七年四月、その管理のかなめとなる、中央管理棟兼川西町土地改良区事務所（鉄筋コンクリート造二階建：六四六・八八平方メートル）が完成し、全国でも数少ない複数水系の集中一元化システムに向けた対応がはじまったことは、すでにご紹介をしたところでです。
この水管理改良施設



中央管理棟駐車場脇に設置された中央管理システムのパネル

事業費負担割合

十六億四千四百万円

事業費

国 五〇・〇割
県 二七・五割
町 一七・五割
土地改良区 五・〇割

施設の概要

管理するダム 五か所
受益面積 六二三ヘクタール
自動給水分水工 九か所
揚水機場 二か所
観測点 五か所
テレメーター子局 十五か所
中央監視操作設備 一式
ダム気象観測設備 一式
ＩＴＶ監視カメラ装置 一式

お知らせコーナー

軽自動車税が

減免になります

次の車両は、平成九年度の軽自動車税が減免になります。忘れずに手続きしてください。

◎対象車両

- ①身体障害者又は、戦傷病者の方が使用する自動車
- ②身体障害者、戦傷病者、精神障害者（一級のみ）の方が通院、通学、通所するために生活を一緒にしている方が使用する自動車
- ③単身で生活する身体障害者を常

時介護する方が使用する自動車
◎申請期日
五月十二日(月)から

五月二十一日(木)まで

◎申請に必要なもの

- ①身体障害者手帳又は、戦傷病者手帳又は、精神障害者保健福祉手帳
- ②障害者と生計を一緒にしている方又は、常時介護している方の運転免許証、及び生計同一証明書又は、常時介護証明書
- ③印鑑
- ◎問い合わせ先

国際交流福祉セミナー ご案内 ＝デンマークの福祉に学ぶ＝

●ねらい

深刻な高齢化の現状を踏まえ、福祉国家北欧デンマークの福祉を学び、安心して老いられる国を目指し、十日町広域圏内市町村の福祉関係者、一般住民、中・高校生が共に高齢福祉・障害福祉・教育等について考える。

●日時 6月2日(月)午後1時から
4時まで

●場所 川西中学校体育館

●講師 日欧文化交流学院

校長 千葉忠夫氏ほか

役場税務課住民税係

(☎六八―三二二)

新潟県公立学校

教員募集

県教育委員会では、平成十年度採用の新潟県の教員を志望する意欲ある優秀な人材を募集します。

◎出願の所定用紙は、次の場所
で直接交付します。
〒九五〇

新潟市新光町四―一

- ・県教育庁義務教育課管理係
- ・県教育庁高等学校教育課管理係

◎郵送で請求する場合は、封筒の表に「教員採用願書等請求」と朱書きし、返信用封筒(角形二号に一九〇円切手をはり、郵便番号・あて先を明記)を同封して、出願用紙交付先へご請求ください。

◎出願について、詳しいことは、次のところにご照会ください。

◎小・中学校教員、養護教員出願者

県教育庁義務教育課管理係
☎〇二五―二八五―五五二一

◎高等学校教員出願者

県教育庁高等学校教育課管理係
☎〇二五―二八五―五五二一

新潟県職員

採用選考考査

県では、平成九年度七月以降採

用の看護職員(看護婦・看護師)四十人程度を次により募集します。

【受験資格】

昭和三十六年四月二日以降に生まれた方で、看護婦(士)の免許取得者

取得者

【考査の日時と会場】

1 一次考査

日時 五月二十四日(土)

会場 新潟市新光町四―一
県庁西回廊大会議室

【考査の方法】

短期大学卒業程度の内容で、一般的知識と知能、専門的知識及び能力についての択一式による筆記試験及び性格検査をします。

合格発表 五月下旬

2 二次考査

日時 六月三日・四日のうち、一次合格通知で指定する一日

会場 新潟市新光町四―一
県庁

方法 面接及び身体検査

【受験手続き】

申込書の請求先 新潟県病院局総務課職員係
申込書の提出

受験申込書に必要事項を記入押印。看護婦(士)免許証の写しを添えて県病院局総務課職員係へ。

【申込書の受付期間】
五月十五日まで(郵送の場合、消印は五月十五日まで有効)

【問い合わせ先】

県病院局総務課職員係

☎〇二五―二八五―五五二一

キャンペーンレディ

募集

平成十年、第十五回全国都市緑化フェアが新潟県で開催されます。フェアを周知するためのキャンペーンレディを次により募集します。

【応募資格】

- ・平成九年八月一日現在で、満十八歳以上の健康な女性
- ・実行委員会事務局に通勤可能の方で、事前研修およびいがたフェアのPRイベントなどに参加できる方

【応募書類】

専用応募用紙又は市販の履歴書
*最近三か月以内に撮影した正面向き、脱帽の全身写真

【応募締切】

五月三十日(金)必着

【第一次選考会】

六月中旬 グループ面接

【第二次選考会】

六月下旬 個人面接

*選考会の日時・会場については、別途お知らせします。

【応募・問い合わせ先】

〒九五〇

新潟市新光町四―一

新潟県庁内 第十五回全国都市緑化にいがたフェア実行委員会事務局広報課

☎〇二五―二八五―五五二一

善意

広報発行に

(敬称略)

上村 忠男 (神奈川県 横浜市) 一万円
山賀 規司 (十日町市) 一万円

表紙の写真

外に出て、さわやかな風を切っ
て自転車乗りでもしたい、という
ような季節を迎えました。しかし、
冬季間のスピード感覚の退化や、
自転車の整備の不完全さなどから
くる事故も、また心配となります。

四月十九日、仙田小学校(新井
登校長・児童数四十六人)では、
そんな折、正しい自転車の乗り方
とルールを身につけさせ、安全意
識を喚起させようと、地域の駐在
さん、交通指導員、安全協会役員
などを招き、交通安全教室を開き
ました。

児童は、低学年と高学年のクラ
スに分かれ、講話を聞いたあと、
校内のコースで基本動作の確認や、
路上での実技指導を受けていまし
た。

訂正

四月十日号の広報かわにし「平
成八年度地域活性化プロジェクト支
援事業一覧表」の申請団体「小脇
盆楽会」の収入及び支出の額を次
のように訂正します。

町補助金

五八九、〇〇〇→五七九、〇〇〇

自己負担金

一四八、二七四→一四五、三九九

合計

七三七、二七四→七二四、三九九



かわにし 伊達

七階の見晴し風呂や夏近し
残雪のいまだ残りに谷深し

高倉 斎木 和人

開け放つ窓に初音のありにけり
遠目にも大木なりし花こぼし

小白倉 江口みゆき

蛙焼きし匂い残れる夕べかな
雪解川輝く橋をバス行ける

小白倉 田中 優美

春の夢なりし雪星仰ぎけり
雪解水溢れし夕や昼の月

仁田 小幡しん女

連翹の夜目にも花の鮮かに
郭公のひねもす啼いて村静か

新町新田 若山 向山

定刻の園閑ざされし牡丹かな
揚雲雀まだあけきらぬ河川敷

足立区 涌井ハル子

平家村どの庭にも桜咲く
だんだんに本気となりて野蒜堀る

練馬区 須藤 遊人

園児らのおたまじやくしの土産かな
散る桜銅像の肩埋めおり

野口 村越 由喜

山門の桐舎の句碑や囀れる
撫若葉句碑公園を覆いたる

霜条 大海 白海

酔う人の千鳥に踏みぬ花庭
隣席の筵を借りる花見かな

水口沢 高橋 願似

乏ぼしらの花を仰げば蝶よさる
鯉識立てある庭の三輪車

寺尾 白井すみい

ビデオCD機器一式

四九二、一三四→四七九、二五九

合計

七三七、二七四→七二四、三九九

ぜんまいを玉の如くもんでをり
黙々と一人蛙塗る老農夫

山野田 藤田ひろ志

庭に出て濡れても見たる春の雨
故郷の路の薑味喰杯進む

高原田 引間 子丹

雪に耐えそつと芽を吹く露の薑
トラクターの音のひびける五月晴れ

相模原市 佐藤 周三

友と来て去年語りつつ蓬摘む
なごり雪止みたる空の飛行雲

野口 野沢 静江

藤房の豊かに姪の婚約日
綾瀬市 野沢ますえ

中仙田 樋口タマエ

春の川裏参道に添ひにけり
山菜に恵まれ峡の里の春

元町 田畑 旭昇

我れもまたしだれ桜を仰ぎけり
春雨や駒打ち込みし茸ほだ

大倉 中条 石平

夜半よりくずれる予報春の月
友とお茶飲む手作りの草の餅

浦和市 登坂 博史

一早く咲く水ばしう祭かな
春蘭の咲き初めしとて友にやる

野口 野沢 寅生

葉桜や絵馬をはみ出す志望校
伊勢原市 金子 桂吉

府中市 喜多 保

幸

幸

「健康診断の季節が やってきました」

ブナの緑がまぶしく、田んぼも
にぎやかになってきました。いよ
いよ職場や地域でも健康診断の季
節の到来です。

町でも、六月から住民健診・胃
がん検診を皮切りに、各種の健診
がスタートします。すでに、三月
に申し込みを取らせていただきま
した。会場・時間については、後
日案内をさせていただきます。申
し込み忘れ、予定変更などがあり
ましたら、住民課保健係までご連
絡ください。

さて、昨年の健診結果を見てみ
ますと、川西町では「糖尿病の疑
いあり」と診断された方が約二十
五パーセントもあったことにびっ
くりしてしまいます。この数字は、
平均の二倍強で、「四人に一人が
糖尿病の疑いあり」ということに
なります。

働きざかりの方が受けている職
場健診はどうなのでしょう？
最近では、生活習慣病といわれ、
残念ながら自覚症状もなく、症状
が現われるころには、かなり進行
していることが多いようです。早
めの治療をお勧めし、日ごろの生
活のなかで注意をしていただきた
いと思います。

また、昨年の死亡状況では、七



戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

田口 翔^{かける} 久夫 木落
登坂 未希^{みき} 正行 岩瀬
片桐 瞬^{しゅん} 裕司 小白倉
滋野 光^{ひかり} 民子 野口

中条 雄平^{ゆうへい} 重文 木島
高橋 芽生^{めい} 克己 高原田
昇天—ごめい福を祈る

田村 健蔵^{けんざう} 75 (健蔵) 室島
丸山 ハルエ 82 (基治郎) 中仙田
丸山 英一^{えい} 83 (進) 原田
斎木 ヨキ 88 (周次) 小脇
広田 マツ 88 (育郎) 沖立
五十川 ミキ 94 (石川ヨシ) 学校町

(4月1日〜30日届け出分)

『じろばた』を

お分けします

風無草の会とふるさと料理研究会が一年がかりでまとめた、ふるさとの暮らしと食べ物『じろばた』の冊子を、希望者にお分けします。

【体裁】 B5版 90ページ

【内容】 ・ いわれやしきたり ・ 日常食や保存食

【代金】 一冊 千五百円

(郵送の場合は二千円。ただし、町内の場合は、全て配達します)

【申し込み・問い合わせ先】

町公民館 (☎68-2167) へ。



ちいさな展覧会

106

上野小学校



▲「みんなの太陽」
1年生 あいざき みやこ さん



▲「みんなの太陽」
1年生 さわぐち たかみつ くん



▲「たのしいこいのぼり」
3年生 富井 飛鳥 さん



▲「たのしいこいのぼり」 3年生 水品 貴絵 さん



▲「たのしいこいのぼり」
3年生 根津 亮輔 くん



▶「2年生になったよ」
2年生 田村 沙貴 さん



▶「くいしんぼうだよ」
2年生 金子 竜美 くん



▲「みんなの太陽」
1年生 たかはし よしき くん

休日救急医

- 5月11日 中条病院(中条) ☎ 57-3018
 〃 長山医院(津南町) ☎ 66-2877
 18日 大島医院(川原町) ☎ 52-2957
 25日 大坪医院(四日町) ☎ 57-6100
 6月1日 古藤医院(津南町) ☎ 65-3001
 〃 上村病院(中里村) ☎ 63-2111
 8日 庭野医院(寿町) ☎ 52-2711
 15日 田中外科医院(田中町) ☎ 52-2403
 〃 中条病院(中条) ☎ 57-3018